



プロフィール

株式会社アーレステイ(TSE:5852)は、ダイカスト業界の大手として、国内外でアルミニウムダイカスト事業を展開する。アルミニウム二次合金地金の生産も行う。アーレステイグループは国内外16社の子会社を擁し、米国、中国、メキシコ、インドおよびタイで製造・販売を行い、グローバルネットワーク体制構築に注力。国内外の主要な自動車、二輪車、トラックメーカーに対し、製品を供給している。2014年3月時点で、従業員7,044名。2014年3月、東京証券取引所第一部銘柄に指定された。

株式情報

2014年11月30日

株価	¥656-
発行済み株式数(千株)	21,778-
時価総額(百万円)	¥14,287-

投資ハイライト

◆ アルミニウム・ダイカスト事業の持続的成長

主力事業であるアルミニウムダイカストの需要は、環境対応のための自動車の軽量化に伴い、堅調に推移するものと推測され、今後も自動車向けに注力していく。グローバルベースでも難易度の高いダイカスト部品を製造できる企業は数社に限られ、自動車メーカーの更なる軽量化ニーズに対応した技術力、開発力を向上し、売上拡大を図る。

◆ 海外生産拠点強化による積極的なグローバル展開

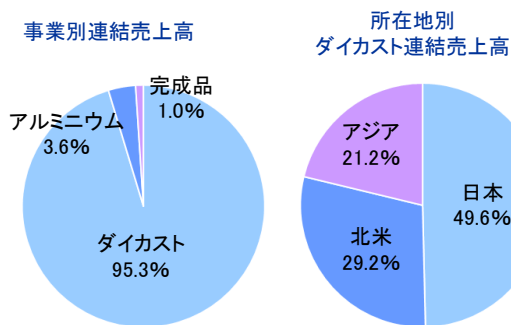
主力製品である自動車向けダイカスト部品需要の拡大を背景に事業のグローバル展開を推進。2012年以降、中国の広州・合肥、及びメキシコとインドの工場拡張、米国ウィルミントン工場の増築を行う。主要顧客の現地生産ニーズに柔軟に対応し、生産性を向上させつつ、グローバル競争力の強化を進める。

◆ 北米事業における業績改善計画の実施

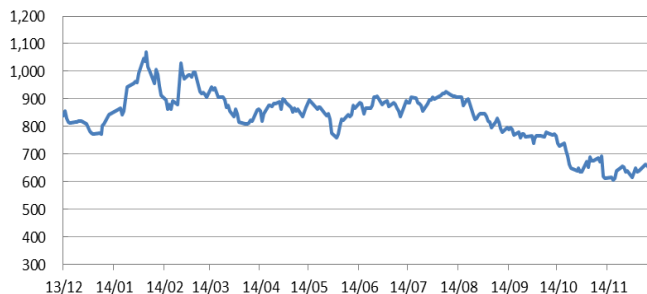
2015年3月期の連結業績悪化は、北米アメリカ工場の影響が大きい。リーマンショック後2010年3月期より売上、収益共に順調に回復していたが、特に2014年3月期第3四半期以降、新規品、増産品点数が増加し旺盛な需要が続く中、需要増に対応した増員後の教育、訓練が後手にまわったことによる作業者のスキルレベルの低下、及び新規生産品の初期トラブル等から生産性が悪化した。

2014年8月に改善プロジェクトを発足し、影響の大きい主要製品の生産性改善計画を中心にアメリカ工場全体の改善計画をまとめ、10月より本格実施。作業者のスキル向上教育、設備保全などを推進すると共に、生産性の改善により残業・休日出勤による労務費や臨時の製品輸送費等を減らし業績改善を図る。現在、改善計画はほぼ予定通りに進捗し、2015年3月での単月黒字、その後も収益性を維持し、2015年3月期下期には以前の水準までに戻す見込みである。

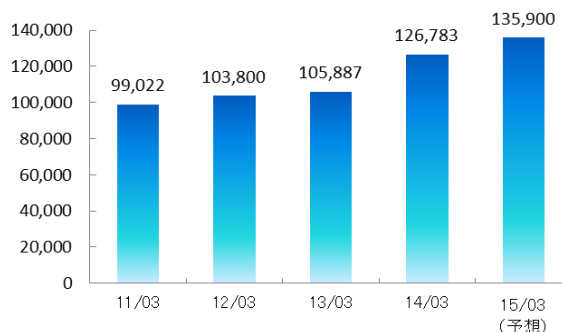
セグメント構成 2015年3月期(予想)



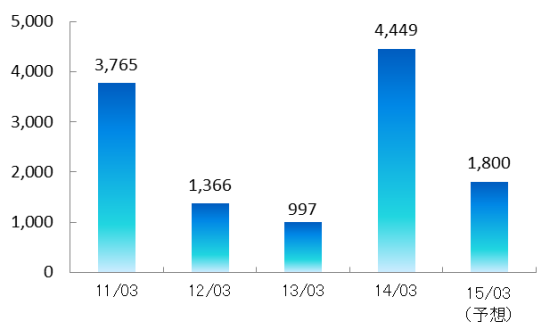
株価推移 (2013年12月1日-2014年11月30日)



連結売上高 推移



連結営業損益 推移



株式会社アーレステイ
〒164-0012
東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンブライトツイン5F

IRコンタクト名: 経営企画部 辻 鶴男
メールアドレス: tsuruo_tsuji@ahresty.co.jp
電話: 03-6369-8664 ファックス: 03-5358-5331